



©車田正美・東映アニメーション

◎パチスロ 聖闘士星矢 海皇覚醒Special

5.5号機でヒットした「パチスロ聖闘士星矢 海皇覚醒」。

その後継機が、三洋物産の6号機第1弾として登場します。

チャンス目による、次回の「海將軍激闘」の継続率アップ抽選や、ポイントによるチャンスゾーン突入抽選など、新しい要素も搭載。

TYの高さや純増の早さなど、短時間遊技にも適しています。

AT（純増約2.8枚/G）機。AT中は、味方の「星矢」「紫龍」らが、敵とバトル。バトル中に「追撃」が発生するとセットストックや特化ゾーンなどを獲得する。

6号機でも「激闘」

本機は、AT（純増約2.8枚/G）機で、ベースは50枚あたり約51G。AT初当たり確率は、1/523～217です。天井は、通常時736G消化で、AT「海將軍激闘」に突入します。

■通常時

通常時は、基本的に前作の「パチスロ聖闘士星矢 海皇覚醒」同様、レア役、ゲーム数解除、小宇宙ポイントの1000ポイント到達による抽選などから、AT「海將軍激闘」（10G+バトル）を経て、メインAT「聖闘士RUSH」を目指すゲーム性。新要素として、通常時、チャンス目を引いた際に次回の「海將軍激闘」の継続率アップを抽選するようになりました。

「海將軍激闘」の1戦目での敗北など、プレイヤーの不利な展開で不屈ポイントがたまり、一定量到達で、次回の「海將軍激闘」突破が確定する救済措置「不屈システム」も健在です。

■「海將軍激闘」+ CZ

「海將軍激闘」は、主人公の「星矢」が対戦相手とバトル。バトルの最低継続率は50%で、3連勝すれば「聖闘士RUSH」確定です。

今作は、「海將軍激闘」に敗北しても、前述の不屈ポイントに応じて、チャンスゾーン（CZ）の突入抽選をしています。CZは5G間に、レア役が成立

すれば、「聖闘士RUSH」プラス、上位のセット数ストック特化ゾーンが確定します。

■「聖闘士RUSH」+特化ゾーン

1セット20～100G+αの「聖闘士RUSH」は、継続率プラス、セットストックタイプ。

突入時は、セット数ストック特化ゾーン「天馬覚醒」、もしくはストック期待度が2.5倍の「女神覚醒」からスタート。両者とも12GのSTタイプで、赤7ぞろいでセットストック。「天馬覚醒」中は、女神凶柄ぞろいで、「女神覚醒」に昇格、もしくは「千日戦争」へ突入します。

セット数継続の特化ゾーン「黄金VS海將軍激闘」は、「聖闘士RUSH」中のレア役などで突入のチャンス。継続バトルに助っ人が登場し、勝利する限り、ストックの消費なしで「聖闘士RUSH」がループ（通常のパトルでは、ストックから消費）。バトルに敗北しても、「聖闘士RUSH」は継続します。

前述の「千日戦争」は、本機最強の出玉トリガー。「黄金VS海將軍激闘」よりも継続率が高い上位バトルで、セット継続率は70～99%以上。勝利するたび、継続率のアップ抽選も行っています。

前作の純増約2枚/GのART特化機

から、同2.8枚/GのAT機になった「～Special」。払い出しスピード感が上がっているのが、大きな特長。「聖闘士RUSH」の平均獲得枚数が約1400枚と、前作（同1350枚）以上なのも、注目ポイントです。

運用方法ですが、朝一のリセットを必ず行うことが重要。理由として、設定変更後は、有利区間へ移行する際、1G目に必ずアイキャッチ画面が出現します。これは、「海將軍激闘」の継続率などを示唆するものなので、初当たりまで追わせる要因にも。新台導入から一通りのユーザーが打った後の朝一の稼働促進となります。

設定の面からみていくと、低設定でも平均TYが高いため、夕方からの稼働にも期待が持てる機種。高設定は、前作に比べて、勝率が安定する仕様なので、設定を使っていることをアピールするにはもってこいでしょう。

PROFILE

加納謙太郎（かのうけんたろう）

アテイン所属。SE業界からパチンコ・パチスロ業界へ転職し、8年。「ハヤタ君」の名前で、ブログ「ハヤログ」、およびTwitter（slomani_hayata参照）を使い、実践情報や店舗情報などを発信している。同時にパチスロコンサルタントとして、中小ホールを中心に、設定調整、機械選定、島レイアウトといった、営業の提案を行う。